



3～4月の行事予定

- 3月1日(火) 卒業式
- 2日(水) 学年末考査
- ～7日(月)
- 3月22日(火) 春休み
- ～4月7日(木)

- 4月8日(金) 始業式
- 新任式
- 入学式
- 11日(月) 対面式
- 離任式
- 15日(金) マナーアップ
- 22日(金)

図書館開放



卒業おめでとう！

卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！

卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！
卒業生みなさん、卒業おめでとう！



卒業生に向けて

校長 田村 吉廣
昔、つまり私が育った頃、進学の際のお祝いといえば万年筆が定番でした。現在はボールペンに押され、他にも多種多様な筆記用具が溢れていて、よほどの愛好家か特定の職業の人しか持ちませんが、当時は貴重な品で、手にすると気持ちが改まって進学の実感が湧いてきたものでした。はじめは力のいれ具合が分からずペンの先が紙に引つかかかって書くのに苦労したのを覚えていま



学年主任 山崎智子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。「光陰矢の如し」として、過ぎた三年間、あっという間の三年間でした。学年主任として、様々な場面が胸に浮かびます。誉めることよりも、叱ることの方が多かったと思います。いろいろな出来事の積み重ねで、皆さんと「心がつながった。」と感じることがありました。卒業式という旅立ちの日を迎え、皆さんはどんな想いをもっていらっしゃるのでしょうか。まずは、保護者や周囲の方々に感謝の気持ちを伝えて欲しいと思います。そして、社会人として初めての給料を頂いたときは、何かプレゼントとしてください。それが、感謝の形です。



三年一組担任 大谷 聡

「入学おめでとう！」から皆さんと同様に私も不安と期待の初の担任生活が始まりました。今、入学してから今日までを振り返ると「苦しい道のり」だったと、それが正直な感想です。自分の未熟さを感じる部分が多く、苦悩の日々でしたが、新米の私の指導に素直に耳を傾け、精一杯学校生活に励む皆さんの姿に救われたことも度々あり、今日までどうにかこうにかやってこられることができました。



三年二組担任 箕輪直通

「入学おめでとう！」から皆さんと同様に私も不安と期待の初の担任生活が始まりました。今、入学してから今日までを振り返ると「苦しい道のり」だったと、それが正直な感想です。自分の未熟さを感じる部分が多く、苦悩の日々でしたが、新米の私の指導に素直に耳を傾け、精一杯学校生活に励む皆さんの姿に救われたことも度々あり、今日までどうにかこうにかやってこられることができました。

学校保健委員会の発表

一月二十七日、今年度の保健活動について報告する学校保健委員会を開催しました。
教員より年間事業報告後、保健委員より「健康観察」「ペットボトルキャップ回収」「中学生への手紙」「エイズキャンペーン」「三年生へ有難う」等の年間活動報告、また「寒さから身を守る」と「衣服を清潔に保とう」の実践研究発表がありました。

前者は、二学期末に全校生徒に指導したものです。スカート丈を長くしたり、シャツを着たりすることで、



予餞会

二月九日、卒業を間近に控えた三年生へのはなむけの気持ちをこめて予餞会が行われました。一、二年生の各クラスと有志、合計十一の団体が出し物を披露しました。



一年一組は全校生徒〇×クイズ、一年二組はいきものがかりの「YELLOW」を合唱しました。二年一組は「旅立ちの日」の合唱と、男装女装を披露しました。二年二組は「全部当てるまで卒業できま10(テン)」と題して、三年生からのアンケートをもとにして作ったクイズを動画にして上映しました。さらに、エレキギター演奏やダンスなどの有志発表もありました。



委員会は、図書館の読み聞かせボランティア有志がパネルシアターを発表しました。保健委員会は、一年生、二年生が三年生への感謝の気持ちをこめてつくった「サンキューメッセージ」を上演しました。一年生の音楽選択者のハンドベル演奏をBGMに、「一緒に部活動ができて楽しかった」「行事での活躍がきっかけだった」「元氣よくあいさつをしてくれてうれしかった」など、三年生への感謝の気持ちを伝えることができた。最後に、三年生が作成した思い出写真のスライドが上映されました。

三時間にわたる長丁場で盛りだくさんの内容となりましたが、生徒会の生徒を中心に運営し、無事に会を終えました。

《感想》
三年一組
田村優歩くん
とても感動しました。三年生という実感もなく、ただ全力で駆け抜けた三年間だった。後輩には、私達三年生はどう見えていたのだろうか。



後輩には、何か残せたのだろうか？ 一つ言える事は、こんなに素晴らしい予餞会を行ってくれた後輩を持つ私達は、とても幸せだということ。予餞会を開いてくれた後輩、先生、そして長野原高校に感謝し、そして誇りに思い卒業したいと思えます。最高の予餞会をありがとうございました。

三年二組

櫻井紀代美さん

三年生を送るはずの予餞会に三年生である私たちが参加できたことが嬉しかったです。ありがとうございました。今日は何より三年生を送るのはもちろん、全員が楽しんで終わることができたのがとても良かったです。三年生のみんなにこのことはきつと素晴らしい思い出になったと思います。

平成22年度 長野原高校スキー部(アルペン)成績

大会名	場所	種目	順位	氏名
県高校スキー選手権 兼 第46回関東高校スキー県予選	尾瀬岩鞍	男子大回転	7	川村広海 17 吉澤修
		男子回転	12	吉澤修 22 湯本優
第45回県高校総体 兼 第60回インターハイ予選	鹿沢	男子大回転	5	川村広海 16 吉澤修 25 湯本優
		男子回転	5	吉澤修 9 湯本優
県民体育大会Ⅱ部スキー競技会 兼 第66回国体群馬県大会	尾瀬戸倉	少年男子	4	川村広海 17 吉澤修
第77回県スキー選手権大会	尾瀬戸倉	男子大回転	5	川村広海 25 吉澤修 50 湯本優
		男子回転	46	湯本優
第46回関東高校スキー大会	水上高原	男子大回転	23	吉澤修
		男子回転	14	吉澤修
第60回インターハイ	岩手県 八幡平市	男子大回転	46	川村広海
第66回国民体育大会	秋田県鹿角市	少年男子	36	川村広海



市川さんの凛々しい姿(右側)



川村くんの勇姿

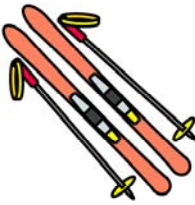
平成22年度 長野原高校スキー部(クロカン)成績

CL…クラシカル F…フリー

大会名	場所	種目	順位	氏名
第16回クロスカントリー名寄大会	北海道名寄	高校男子10km F	91	入村恵貴 139 齋藤有馬
		高校女子5km F	23	重田結歌 28 市川絵奈
第28回クロスカントリー音威子府大会	北海道 音威子府	高校男子10km CL	94	入村恵貴 167 齋藤有馬
		高校女子5km CL	25	市川絵奈 30 重田結歌
		高校男子10km F	111	入村恵貴 165 齋藤有馬
		高校女子5km F	21	重田結歌 31 市川絵奈
県高校スキー選手権 兼 第46回関東高校スキー県予選	水上高原	男子10km CL	2	入村恵貴 3 齋藤有馬
		女子5km CL	1	市川絵奈 2 重田結歌
第45回県高校総体 兼 第60回インターハイ予選	水上高原	男子15km F	2	入村恵貴 3 齋藤有馬
		女子10km F	1	市川絵奈 2 重田結歌
		男子10km CL	2	入村恵貴 3 齋藤有馬
		女子5km CL	1	市川絵奈 2 重田結歌
県民体育大会Ⅱ部スキー競技会 兼 第66回国体群馬県大会	草津 音楽の森	少年男子	2	入村恵貴 6 齋藤有馬
		少年女子	1	市川絵奈 2 重田結歌
第77回県スキー選手権大会	草津 音楽の森	男子10km CL	3	入村恵貴 5 齋藤有馬
		女子5km CL	1	市川絵奈 2 重田結歌
		男子10km F	2	入村恵貴 7 齋藤有馬
第46回関東高校スキー大会	水上高原	男子10km CL	2	入村恵貴 10 齋藤有馬
		女子5km CL	1	市川絵奈 2 重田結歌
第60回インターハイ	岩手県 八幡平市	男子10km CL	51	入村恵貴 120 齋藤有馬
		女子5km CL	50	市川絵奈 53 重田結歌
		男子15km F	33	入村恵貴 135 齋藤有馬
第66回国民体育大会	秋田県 鹿角市	少年男子	43	入村恵貴 103 齋藤有馬
		少年女子	21	市川絵奈 23 重田結歌
		少年男子 リレー	16	群馬(入村1走、齋藤4走)
		女子リレー	6	群馬(重田1走、市川2走)
第23回全国高校選抜スキー大会	岐阜県 高山市	男子10km CL	45	入村恵貴 115 齋藤有馬
		女子5km CL	31	重田結歌
		男子10km F	54	入村恵貴 109 齋藤有馬
		女子5km F	19	重田結歌

健闘 スキ一部

今年度はアルペン四名・クロスカントリー四名の八人で、全国大会入賞を目指して夏の陸上トレーニングから頑張ってきました。その結果全員が関東大会へ出場(市川絵奈二冠、五名(アルペン・クロスカントリー四)が全国大会へ出場いたしました。個人種目では悲願の全国入賞はなりませんでしたが、市川・重田の国体女子リレー六位入賞・川村の国体三十位台と三年生が活躍してくれました。今後大会が続きませんが、来年度の全国入賞を目指し、少しでもレベルアップしていきたいと思えます。



スキー部顧問 本多一男

《編集後記》



高校入試の時期である。残念ながら、本校は定員に満たない状況が続いてきた。ここ数年は七十名(定員八十名)前後を維持しているが、まだ高校として魅力が足りないのかも知れない。

生徒の人は柄は純朴で、可能性を秘めた原石そのもののように思う。ただ、生徒へのアンケートでは「家庭での学習時間がゼロ」「定期テスト前での家庭学習はほとんどなし」の回答が驚くほど多い。「一玉にきず」だ。「学校は勉強するところ」のほず、大いに改善の余地がある。「高校に登校して友人と雑談しているだけならば楽しい」のは当たり前だ。「学校の勉強は時として苦しくてつらい」ものである。是非こま

で突き詰めた勉強を期待したいものである。部活動は有名で毎年実績を残しているスキー部といくつかの運動部・文化部が継続して活動しているが、帰宅部員や部活動に登録していない生徒がかなり多い。どの部活動でもいいから、三年間打ち込んでほしい。「部活動から得られるもの」が必ずあるはずだ。

生徒二百名前後に対して職員四十名で、職員は「全生徒の名前と顔がわかる」(私はなかなか覚えられないが;)「私はなかなか覚えられないが;)」ほど教育熱心であり、「やってみよう」と思うほど面倒見が良い。手前味噌になるが「職員集団の教育力」はかなり良い。つまり生徒にとっては教育条件は揃っていると言える。だから是非有効に活用してほしい。



バトンタッチ!

(片貝先生撮影 思い出の一枚)

いる。人として当たり前のことだから、調子に乗らないで今後も継続してほしい。思い当たることを記述したが、今後ますます長野原高校が発展することを期待したい。(広報部長 片貝)